

授業概要

上代から近世までの日本文学史を講義します。毎回、それぞれの時代における代表的作品を取り上げ、内容の一部を講読します。各作品のテーマや、語り・文体の特徴、作者や時代的背景などについて学びましょう。また、前時代からの影響、後代に与えた影響についても併せて説明し、「なぜ各作品に価値が認められるのか」という点についても触れていきます。

日本文学の歴史、および代表的な作品について学ぶことは、現代日本を生きる私たちの生活やものの考え方のルーツを探ることにつながります。その点を念頭に置きながら、各作品に対して共感できる点、反対に理解しがたい点についても、受講生の方々と共に見出していきたいと考えています。

授業計画

第 1 回	「古典文学」について（上代から近世までの文学史概観）
第 2 回	上代文学① 『古事記』、『日本書紀』
第 3 回	上代文学② 『万葉集』
第 4 回	中古文学① 『古今和歌集』
第 5 回	中古文学② 『伊勢物語』
第 6 回	中古文学③ 『源氏物語』
第 7 回	中古文学④ 『枕草子』『栄花物語』『大鏡』
第 8 回	中古文学⑤ 『今昔物語』（中世の『宇治拾遺物語』にも触れる）
第 9 回	中世文学① 『新古今和歌集』
第 10 回	中世文学② 『平家物語』
第 11 回	中世文学③ 『徒然草』『方丈記』
第 12 回	中世文学④ 『御伽草子』
第 13 回	近世文学① 浮世草子
第 14 回	近世文学② 読本
第 15 回	近世文学③ 俳諧
第 16 回	期末テスト

到達目標

- ①上代から近世までの日本文学史の流れを理解する。
- ②各作品の作者、時代背景、内容、表現的特徴を理解する。
- ③上記①②を通して、中等教育学校における国語科授業に資する知見を身につける。

履修上の注意

遅刻・居眠り・途中退出・私語・携帯電話やスマートフォンの使用は慎むこと（迷惑行為が認められた場合は退室していただきます）。

授業は講義形式ですが、適宜受講生に意見を求めます。主体的な学習意欲をもって履修してください。

予習・復習

予習：次回扱う作品について、入門書等で下調べし、分からない語句などを調べておく。

復習：ノートやプリントを整理し直し、分からない箇所は教員に質問するなどして明らかにしておく。

評価方法

授業への参加態度 30%、期末テスト 70%を目安として総合的に評価します。

テキスト

毎回プリントを配布します。